

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立津島高等学校

47

評価実施日	令和元年6月27日(木)、令和2年2月17日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	山本 美保	英会話塾主宰(本校学校評議員)	学校評議員
	田村 裕子	宇和島市教育委員会	地域代表
	中村 公昭	宇和島警察署津島駐在所長	地域代表
	河野 理恵	宇和島市立津島中学校教頭	地域代表
	廣瀬 孝賢	本校PTA会長	保護者代表

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒による授業評価は昨年度同様ほとんどの教科で高評価を得ているため、これまでどおり生徒一人一人に合った指導を行ってほしい。自主学習と読書習慣が身に付いていないという課題に対しては、公民館も協力できる。学校図書館にない本などの貸出、休日の自習室としての活用などのために積極的に活用して欲しい。 <p>(2) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の身だしなみは良くなり、規範意識が高くなってきている。その一方で、覇気がなくなったり、幼くなったりした生徒も見かける。また、挨拶ができなくなった印象もある。少人数ではあるが生徒や教員がよく努力していることが伝わってくる。 ○ 交通安全については、歩きスマホなどの「ながら運転」で生徒を指導したことはないため、引き続き交通ルールを遵守し、安全確保に努めてほしい。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲の向上や進路実現につなげるため、資格取得、検定試験合格に向けた積極的な指導をしてほしい。また、そのチャレンジに向けた家庭学習や自主学習の習慣を身に付けてほしい。 ○ 進学指導では、四年制大学に合格する生徒が増加するなど成果を収めている。就職指導においては、早期離職者が出ないような指導もお願いしたい。 <p>(4) 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域行事に積極的に参加してくれる高校生は、地域での存在価値と信頼感を高めた。特に高校生、行政、地域が連携し企画した地域活性化イベント「つしまるしゅ」は好評であった。地域を盛り上げるために、このようなイベントを今後どのように継続、発展させていくのが大切である。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報誌での生徒の表情が良く充実した高校生活を送れているのだと感じている。生徒や教職員は学校の魅力化のためによく努力しているが、生徒確保につながっておらず残念である。OBや同窓会が組織立って協力をすべきではないか。体験入学でのクライミング活動は好評であるため、PR方法を工夫し生徒募集につなげてはどうか。 <p>2 学校経営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の分校化に関しては、学校の努力だけでは限界があるため、同窓会や地域自治会などに協力依頼をしてはどうか。積極的に行動をしていかなければ、いずれ募集停止となるのではないかと。 ○ 地域行事で意欲的に活動する高校生を見てすばらしいと感じているし、地域の方々も喜んでいて。地域活性化に向け、中学校も高校と連携して何ができるか考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引き続き多様な進路希望や学力に対応できるよう、類型に応じた習熟度学習指導やティームティーティングによる学習指導を継続し、分ける授業及び参加型授業の実践に努めたい。また、公民館と連携した読書週間や自主学習強化期間を設定し、学習意欲の向上に努めたい。 ◎ 身だしなみについては、引き続き全教職員共通理解の下、日頃より指導の徹底を図る。生徒会と教職員とが連携した挨拶指導などを通じて、正しい言葉遣いや挨拶等、社会人として必要な資質を備えた人材の育成に努めたい。スマートホン等の使用については、校内のみならず校外でのマナー向上及び交通安全に係る指導の徹底を図る。 ◎ 学習目標の一つに資格検定取得を掲げ、学習意欲向上や進路実現につなげるための指導を該当教科で充実させる。四年制大学合格に向けた進路指導は、個別指導の充実を図るとともに、多様な入試制度をはじめとする進路情報の提供に努め、数だけでなく質の向上も図る。就職に関する離職率を低下させるためには、事前の就職先の情報収集、企業への見学会への参加、卒業後における企業との連携などを系統的に進めていく。 ◎ 地域活性化及び多くの生徒への活躍の場の提供に向け、関係機関と協力し地元のイベントへ積極的に参加するとともにその企画にも協力をする。また、引き続き、ホームページ、広報誌、報道機関を活用した学校の諸活動紹介を積極的に行い、魅力ある開かれた学校づくりを推進する。 ◎ 学校生活全般において、引き続き生徒の主体性を重視する指導を実践することで積極性や自信を身に付けさせ、活動意欲に満ちた生徒を育成する。体験入学については日程を考慮し、地元の津島中學生が全員参加できるような工夫する。また、近隣中学校と連携を図りながら特徴ある部活動のPR方法の工夫を図る。 ◎ 一人でも多くの生徒確保のためには、地元中学校との連携は欠かせない。中高、更に行政や地域と連携を図り、地域活性化に向けた教育活動を充実させることに努めたい。また、引き続き少人数であることを本校の長所と捉え、生徒が主体的に活躍できる場面を多く設定することで、自己肯定感を高め、積極的な学校生活を送らせたい。